

# 2018年 第十三組

## 『真宗同朋の集い』のご案内

このたび、下記のとおり全3回の日程で「真宗同朋の集い」を開催いたします。有縁の方お誘い合わせのうえ、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 組教化テーマ

#### 「宗祖としての親鸞聖人に会う

#### —浄土真宗の教義の基礎を学び、お念仏の心を生活の中で確かめていく—

第1回	第2回	第3回
◆日時 4月24日(火) 午後1時30分～	◆日時 5月31日(木) 午後1時30分～	◆日時 6月25日(月) 午後1時30分～
◆会場 養林寺(味浜)	◆会場 慶徳寺(池田)	◆会場 長壽寺(刈米)
◆講師 稲前 恵文 師 (六ツ美組 本光寺)	◆講師 馨 敏郎 師 (第31組 蓮福寺)	◆講師 荒山 信 師 (名古屋教区 恵林寺)
◆講題 「正信偈に学ぶ」  【講演要旨】 私たちが日ごろお勤めしている「正信偈」は、念仏の伝統に浴された親鸞聖人が、ご自身の深い感動をもって歌われた『信心のうた』であります。今回は、正信偈の冒頭の二句を皆さまと共に尋ねていくことを通して、生活の中での「お念仏の心」を確かめてみたいと思います。	◆講題 「《対話》をいっしょに 学びませんか？」  【講演要旨】 真宗門徒の基礎って、【認め合う】ことではないでしょうか。ただ、これがなかなか出来ない(笑)。家族の中でもできない。否定してしまう。嫌ってしまう。選んで、離れてしまう。そこには浄土は現れません。 《対話》という態度は、そんな私たちの関係を救ってくれます。傾聴、同調、うなずき、寄り添い…こうした態度で人との関係を結び直してゆくところに、浄土が現れるのではないのでしょうか。	◆講題 「凡夫の上にひらかれる生活」  【講演要旨】 親鸞聖人のご晩年のお手紙の中に「ねんごろのころ」というお言葉があります。「ねんごろ」とは「ていねい」という意味です。 聖人は「がんばって生きよ」ではなく「ていねいに生きよ」と示されたお方のように思います。ていねいに語る、ていねいに聞く、そしてていねいに出会うということを大切に、皆様と学んでいきたいと思います。

◎聴講料 1,000円(3回通しの共通聴講券をお求めいただき、毎回受付に提示してください。)

◎主催 真宗大谷派 第十三組教化委員会

◎問合わせ 第十三組の各寺院にお問い合わせください。共通聴講券も各寺院でお求めください。

◎注意事項 開催曜日、開催場所が異なりますので、お間違えないようご注意ください。

各回の終了予定は午後3時40分となります。なお、当日も聴講券を頒布いたします。

----- キリトリ -----

2018年「真宗同朋の集い」参加申込書	共通聴講券 No. _____
氏名	申込寺院
住所	電話番号

上記ご記入のうえ、聴講料を添えて、組内寺院へお申し込みください。その際、共通聴講券をお渡しします。